

## 第7号（その他基準）

### 傷病者の搬送及び傷病者の受入れの実施に関し都道府県が必要と認める事項

第7号は、第6号までの基準以外に傷病者の搬送及び受入れの実施に関して、都道府県が必要と認める事項について策定するものである。

以下に例を示す。

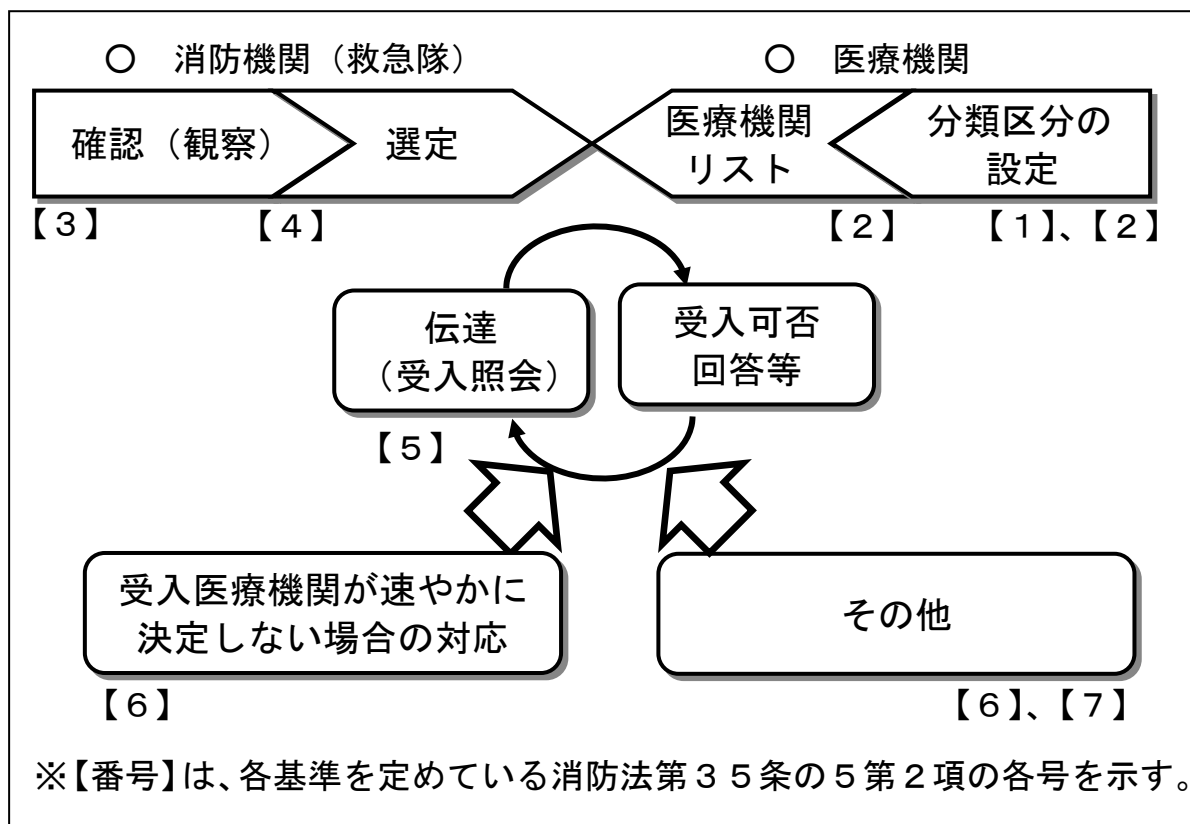
#### ① 搬送手段の選択に関する基準

消防防災ヘリやドクターヘリを活用する場合には、基本的に消防機関が要請を行うこととなり、ヘリコプターを効果的に活用するためには、適切なヘリ要請が必要となる。そのため、救急車を活用した場合と、ヘリコプター等を活用した場合において、どちらが傷病者の生命や予後の観点から適当か等、当該地域においてあらかじめ検討した上で、一定の要請基準を設定することが考えられる。

#### ② 災害時における搬送及び受入れの基準

災害時、特に多数発生した傷病者に対し、消防機関と医療機関がどのように連携を図るかについて、傷病者の搬送及び受入れの観点から、実施基準としてあらかじめ策定しておくことが考えられる。

## 実施基準概念図



- 【1】 第1号 (分類基準)  
傷病者の状況に応じた分類の策定
- 【2】 第2号 (医療機関リスト)  
分類に応じ医療機関の名称を具体的に記載
- 【3】 第3号 (観察基準)  
傷病者の状況の観察の基準
- 【4】 第4号 (選定基準)  
医療機関の選定の基準
- 【5】 第5号 (伝達基準)  
観察に基づいた傷病者の状況の伝達の基準
- 【6】 第6号 (受入医療機関確保基準)  
医療機関の選定が困難な場合の対応  
その他医療機関を確保するための基準
- 【7】 第7号 (その他基準)  
その他必要な基準

### 3 協議会について

消防法が都道府県に設置を義務づける協議会は、傷病者の搬送及び受入れの実施基準を策定又は変更するに当たっての協議や、実施基準に基づく傷病者の搬送及び受入れの実施に係る連絡調整を行うためのものであり、消防機関及び医療機関をはじめ、関係者が広く参画するものでなくてはならない。

協議会の構成メンバーについてその一例を以下に示す。

① 消防機関の職員

- ・ 代表消防本部
- ・ 政令市等大規模消防本部
- ・ 中～小規模消防本部

等

② 医療機関の管理者又はその指定する医師

- ・ 救命救急センター、地域中核病院
- ・ 二次救急医療機関
- ・ 小児科、産婦人科、精神科等の特に特定の医療機能を有する医療機関

等

③ 診療に関する学識経験者の団体の推薦する者

④ 都道府県の職員

- ・ 消防防災部局の職員
- ・ 衛生主管部局の職員

⑤ 学識経験者その他の都道府県が必要と認める者

消防機関と医療機関等との間の意見調整や傷病者の搬送及び受入れに関する合意の形成を行うことから、こうした関係機関における一定の責任を有す

る者が協議会の構成員となることが望ましいと考えられる。しかし、同時に、実施基準を現場の実情に即したものとするため、現場の意見を反映させることも不可欠である。そのための対応として、協議会の構成メンバーに現場の消防職員や救急医療に携わる医師を加えることや、意見を聴取する場を設けること等も考えられる。

## 4 傷病者の搬送及び受入れに関する調査・分析について

地域の実情に即して実施基準を策定し、適切に見直しを行っていくため、救急搬送及び受入れの実施基準について、調査・分析を行うことは極めて重要であり、協議会の役割として位置づけられている（消防法第35条の8「実施基準に基づく傷病者の搬送及び傷病者の受入れの実施に係る連絡調整」）ところである。

まず、救急搬送における症状等ごとの受入医療機関の照会回数や搬送時間などを調査・分析し、分類基準を定めるべき症状等を把握する必要がある。

また、単に搬送時における照会回数等だけでなく、傷病者の状況等に応じて、救急隊の観察、病院選定や処置が適切であったか等について、実施基準にフィードバックすることで、傷病者のためにより適切な搬送及び受入れを実現していくことが重要である。

このためには、消防機関が有する搬送に関する情報と、医療機関が有する救急搬送後の傷病者の転帰情報等をあわせて総合的に調査・分析を実施する必要がある。

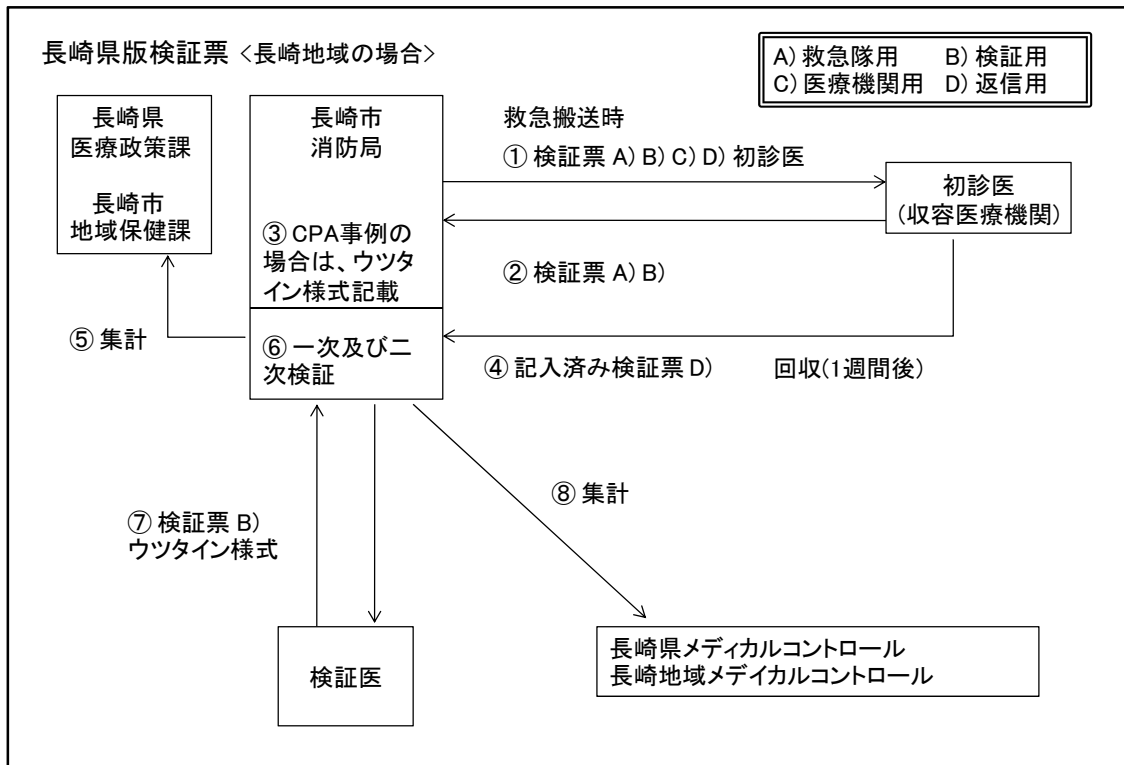
実施基準を、有効なものとして継続するためには、少なくとも年に1回は調査・分析を行い、状況に応じて必要な見直しを行うことが求められる。

(1) 地域の取組について

① 長崎救急医療白書

- ・ 地域における患者の発生状況、治療・転帰の状況を明らかにするために救急現場から医療機関へ正確な情報を伝え（プレホスピタルレコード）、治療結果をフィードバックしている。

取組例6 長崎県





長崎県版救急送達確認票 (医療機関用)

Header information form including patient name (長崎県), birth date (生年月日), sex (性別), and hospital information (医療機関). Includes checkboxes for emergency response.

※返信する際は、切り取り線で切り取って郵送下さい。(切り取り線)

Medical information section including hospital name (救急科), patient name (氏名), and hospital ID (病室番号).

医療機関からの情報は、長崎県内の救急統計資料に活用させて頂きたく御協力をお願いします。

Medical history section (医療概況) with checkboxes for various symptoms like chest pain, shortness of breath, etc.

Diagnosis section (診断) for the patient's condition.

Treatment section (処置) detailing medical procedures performed, including medications and monitoring.

Discharge information section (退院情報) including hospital stay dates and physician signature.

ICD-10 diagnosis code section (ICD-10) with a list of codes and checkboxes for selection.

※ 消防機関では全国レベルで心臓停止患者のウインタイン統計に準じた統計を行っております。...

長崎県版救急搬送確認票 (医療機関用)

Header information form including patient name (長崎県), birth date (生年月日), sex (性別), and hospital information (医療機関).

Medical history section (医療概況) including a physical examination diagram (身体部位検査) with checkboxes for various symptoms.

Diagnosis section (診断) with checkboxes for various medical conditions and symptoms.

Treatment section (処置) detailing medical procedures performed.

ICD-10 diagnosis code section (ICD-10) with a list of codes and checkboxes for selection.

※ 消防機関では全国レベルで心臓停止患者のウインタイン統計に準じた統計を行っております。...